

某発電所内 海水汲み上げ配管 漏水補修

施工日： 2020年4月24日
施工者： (株)折原製作所

500A 鋳鉄管 漏れたまま補修



①施工箇所の確認をさせて頂く。フランジ際部で、3cm程の穴が空いており、残水が漏れ出ている状況である。



②まず、傷穴が大きい為、ステンメッシュ（大きい傷穴用補助部品）を今回はブチルロールで挟む。穴にはオリスチール（金属粉入りエポキシパテ）が直接入り込む様に、球状にしたものを作成し、ステンメッシュに付け傷口に押し付ける。直ぐにオリステープ（仮止め用テープ）を強く引っ張りながら巻き仮止水する。



③オリステープは、本来、傷口の上を集中して巻きますが、今回は穴が大きい為、フランジ際の方から巻き始め、傷穴全体を覆う様に、少しずつずらしながら巻く。巻き終わり後、止水が完了しているかを確認する為、15分から20分程度放置し、異常が無い事を確認する。



④最後に、保護・補強を兼ね備えた延命補強材マホータイ（特殊レジン含浸グラスファイバーテープ）に硬化剤の水を含ませてから巻く。巻き終わり後、水と反応して出る樹脂を全体に行き渡らせる様に巻いた方向と同じ方向へ撫で付け、緩みを無くす様に絞り施工終了。